学校番号	416

令和８年度　芸術科

教科	専門教科 音楽	科目	(学)保育ピアノと歌	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	標準バイエルピアノ教則本（全音楽譜出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本校の特色である「ハートフルほいくコース」の生徒に、保育士に必要なピアノと歌の技能を習得するための科目です。バイエルピアノ教則本を用いて音楽の基礎を学び、幼児教育に向けた歌を通して、歌うための発声法やピアノ伴奏等について学びます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
音楽表現をするために必要な知識や技能を身につけている。
【思考力、判断力、表現力等】
音楽要素の関連や働きについて思考し、どのように表現すべきか創意工夫したり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりすることができるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に楽器の音色や奏法の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏できるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音楽表現をするために必要な技能（奏法・姿勢や身体の使い方・読譜の仕方）を身につけ、創造的に表している。 知識 ピアノの奏法を習得し、読譜力を少しずつつけていくとともに、保育の歌を歌いながら簡易伴奏をする。 技能	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	楽器の音色や奏法の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	弾いてみよう①	バイエル1～40 番	a:指番号を理解し正しい運指で弾くことができる。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをどのように表すかについて表現意図を持って旋律が弾いている。 c:楽器の音色や奏法の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	実技テスト	演奏の聴取	観察
	歌ってみよう①	・大きな栗の木の下で ・わにのうた ・とんぼのめがね	a:腹式呼吸を用いて自然な発声で大きな声を出す。音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、音程やリズムを正しく歌うことができる。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをどのように表すかについて表現意図を持って歌っている。 c:歌唱の特徴に関心を持ち、それらを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	実技テスト	演奏の聴取	観察
2学期	弾いてみよう②	バイエル41～80 番	a:指くぐり、指ごえがスムーズにでき、フレーズや強弱を意識している。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをどのように表すかについて表現意図を持って旋律を弾いている。 c:楽器の音色や奏法の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習にくり返し主体的に取り組もうとしている。	実技テスト	演奏の聴取	観察

	歌ってみよう②	・手のひらを太陽に ・さんぽ ・虹 ※簡単な 2 部合唱をする	a:腹式呼吸を用いて自然な発声で大きな声を出す。音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、表情をつけて歌うことができる。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをどのように表すかについて表現意図を持って歌っている。 c: 歌唱の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	実技テスト	演奏の聴取	観察
3学期	弾いてみよう③	自由課題	a: 音楽表現をするために必要な技能（奏法・姿勢や身体の使い方・読譜の仕方）を身につけ、創造的に表している。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをどのように表すかについて表現意図を持って旋律が弾いている。 c: 楽器の音色や奏法の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	実技テスト	演奏の聴取	観察
	歌ってみよう③	・勇気 100%	a:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、音程やリズムを正しく表情をつけて歌うことができる。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをどのように表すかについて表現意図を持って歌っている。 c: 歌唱の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	実技テスト	演奏の聴取	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度